

本ソフトウェアは技術的制限手段を違法に回避するものではありません。

このソフトウェアは、技術的制限手段が施された著作物のリッピング等、改正不正競争防止法で定められた違法行為に抵触するものではありません。

AsCpuTempGraphe.exe (agency SAKAE CPU温度グラフ 以下、アプリ) はフリーウェア(無料)です。

著作権は放棄していません。 agency SAKAE が著作権を保有しています。

使用したことによって生じた不具合には一切責任を負いません。 **自己責任で使用してください。**

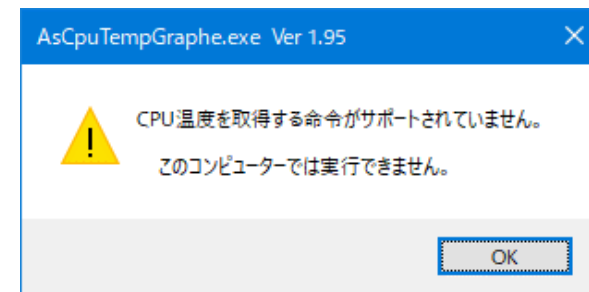
AsCpuTempGraphe.exe は**管理者として実行**してください。

**パソコンによって使えない**(エラーが表示される、いつも同じ温度になる)ことがあります。

画面を縮小・拡大していると**キャプチャー位置がずれる**ことがあります。

マルチCPUのコア別の温度測定には対応していません。

**重要**



このマニュアルを見て、他の人に聞くことなく自分一人で使いこなすことが出来る人だけが使ってください。

動作不具合は件名を **AsCpuTempGraphe Ver 2.01.45** にして次のメールアドレスに送ってください。

agency.sakae@gmail.com

CPUが対応していないと実行できません。

私の動作環境でも不具合が再現できて、修正できる内容であれば改訂版に差し替えます。

アプリの画像とマニュアルのフォーム画像が異なる場合があります。書かれている内容も最新版アプリと異なることがあります。

元は CpuTempGraphe.exe だったのを 一般的すぎるので先頭に As ( agency SAKAE ) を付けました。

そのためフォーム左上のタイトルに As が付いていないのが多数あります。

マニュアルで使っている **¥** (円マーク) がフォントによって \ (バックスラッシュ) になっていることがあります。

インストーラーは有りません。 AsCpuTempGraphe.exe を直接(またはショートカットで)起動してください。

インストールをしていないのでアンインストールも不要です。 アプリをダウンロードしたフォルダー・ファイルを削除するだけです。

『 コントロールパネル → プログラムと機能 → プログラムのアンインストールまたは変更 』の一覧にも載りません。

レジストリーは使っていませんが My.Setting という命令は使っています。

環境変数 %AppData% の場所に agency\_SAKAE のフォルダーが作られて、その中にサブフォルダーが作られる場合があります。

【例】 C:\Users\sakae\AppData\Roaming\agency\_SAKAE\AsCpuTempGraphe.exe\_Url\_[i45ix4004uvcwn2utlgeip4taw5lihkc](#)

この部分は変わります。

動作確認は Windows 10 Pro で行っていますが環境によっては動かないこともあると思います。  
Windows 10 Home / 11 では動作確認をしていません。

アプリは Microsoft Visual Studio 2019 , 2022 の Visual Basic で作成しました。

フォーム、ボタンなど全て英語になってます。 日本語にしたかったのですが 2バイト文字 では文字化けをすることがあるので英語(1バイト文字)にしました。  
日本語から英語にはインターネットの翻訳サイトを使いました。 おかしな英語になっているかも知れませんがご勘弁ください。

私が使っていておかしなところは気づいたら直していますが、隠れているバグもあると思います。  
バグは直すようにしたいと思っていますが、技量不足で直せないのものもあるかと思っています。 ご了承ください。

このアプリで言う コンピューター名 は 正確には ホスト名 ( Dns.GetHostName ) です。

公開直前に気が付いて 時刻表示 を直しました。 HH: mm:ss と : m の間に半角スペースが入っていたのを削除しました。  
このマニュアルでは半角スペースが入っているのがありますがアプリの Ver 2.00 以降は削除されています。

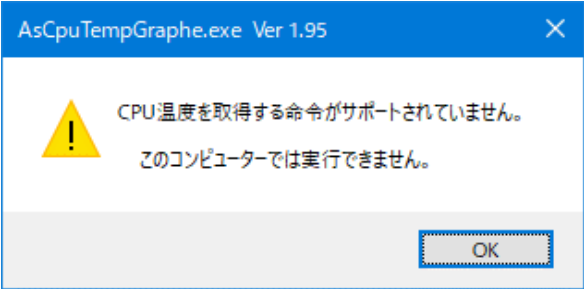
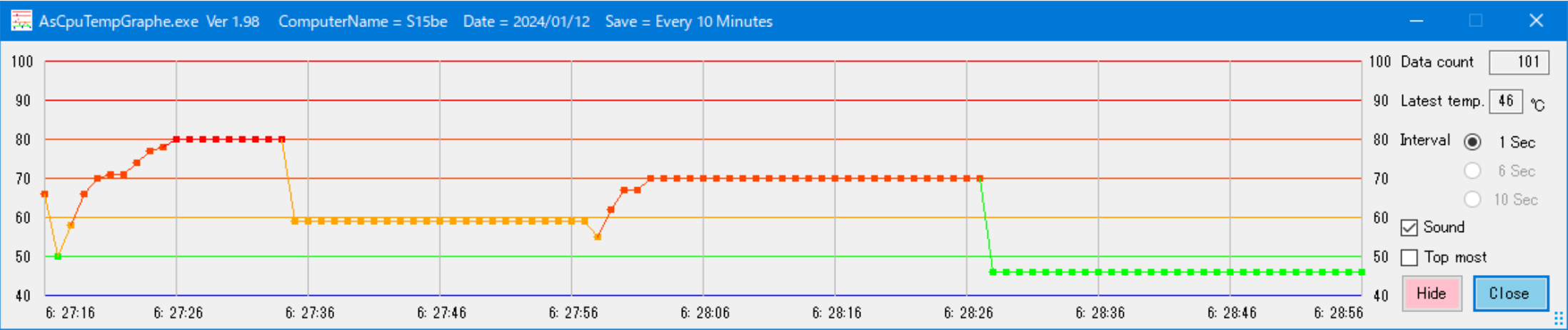
19: 31:50	19: 32:00	19: 32:10	

Ver 1.99 まで

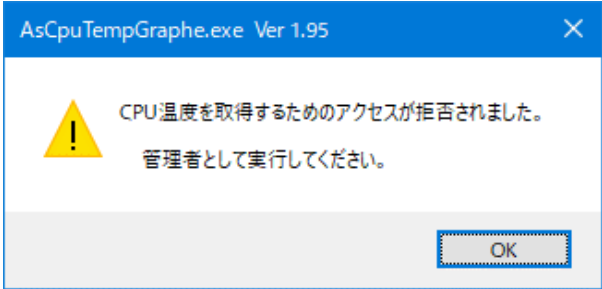
19:40:50	19:41:00	19:41:10	

Ver 2.00 以降

AsCpuTempGraphe.exe (agency SAKAE CPU温度グラフ 以下、アプリ) は下のような画像が表示・保存できます。アプリは**管理者として実行**してください。



CPUが対応していないと実行できません。



管理者として実行してください。

エラーにはならないけど温度を取得できない  
(いつも同じ温度なる)こともあります。

初期値は次の通りです。

フォーム位置	原点から右 300ドット、下 300ドット
フォームサイズ	幅 1, 345ドット、高さ 260ドット
常時最前面表示	しない・ <b>する</b>
画面更新間隔	6秒・ <b>1秒</b> ・10秒

自動保存	しない・ <b>100秒毎</b> ・10分毎
保存後非表示	しない・ <b>する</b>
影の除去	しない・ <b>する</b>
警告温度	80℃・ <b>85℃</b> ・ 90℃・95℃・ 41℃ ~ 101℃

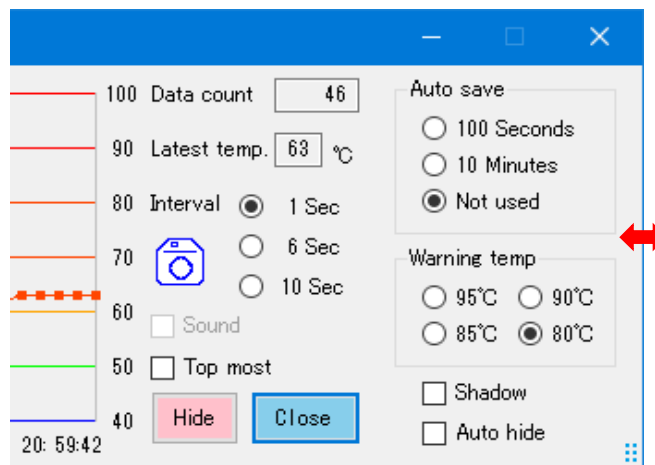
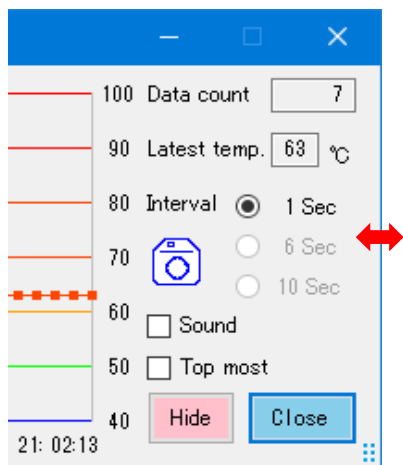
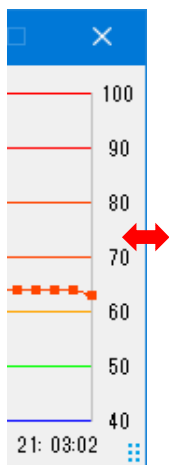
保存時の音	鳴らさない・ <b>鳴らす</b>
保存音の種類	信号音・ <b>ビープ音</b>
信号音の周波数	523 Hz・ <del>37 Hz ~ 32,767 Hz</del>
信号音の長さ	300 mSec・ <b>任意</b>

キャプチャーした画像ファイルは .png 形式で デスクトップ に次の名前で保存されます。 /ImageSaveFolder= で好きなフォルダーに変更できます。

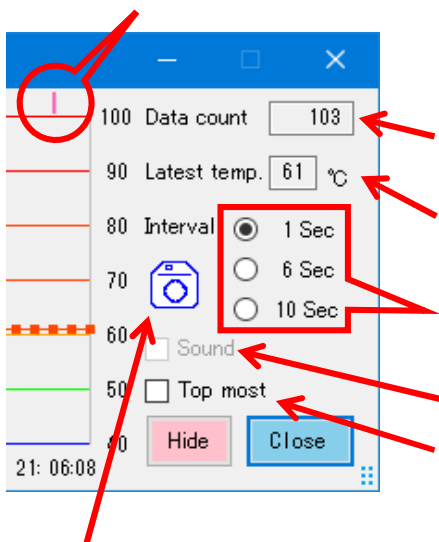
AsCpuTempGraphe.exe S15be 20210715 211218.png

アプリ名                      コンピュータ名              日付              時刻      .拡張子

フォームの右端をつまんで左右に動かすと横幅が3段階に変えられます。



赤い縦線はタイミングマーカーです。自動保存の時は左端の位置になればキャプチャーします。



表示できるのは 101ポイントだけで、古いデータから左へスクロールアウトします。止めるまで延々と実行します。

Data count は 86,400 になると 0 にリセットされます。( 86,400 = 60秒 × 60分 × 24時間 )

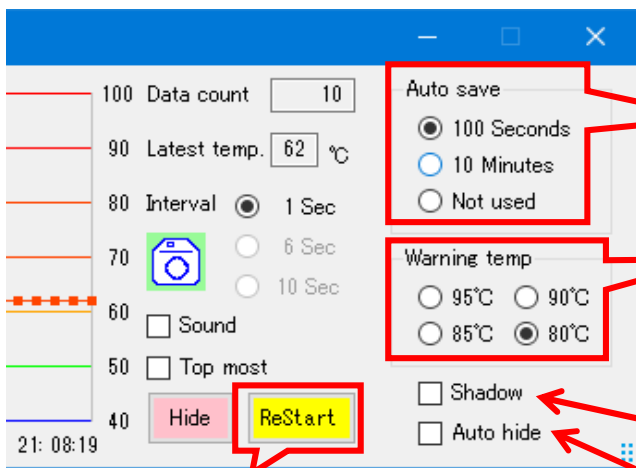
測定した最新のCPU温度です。39℃ 以下は 40℃ として、101℃ 以上は 100℃ として処理してます。

Interval (インターバル・次の描画までの時間)を選んでください。ただし自動保存の時は選択できません。

Sound または Beep はアプリからフォームが最前面にポップアップ表示されるときに信号音またはビーブ音が鳴ります。

Top most をチェックすると常時最前面に表示します。ただし、さらに優先度の高いアプリケーションがあると背面に隠れます。

カメラボタンはいつでも押せはキャプチャーできます。



100 Seconds 100秒毎にフォームを自動保存します。

10 Minutes 10分毎にフォームを自動保存します。

Not used 自動保存はしません。

95 , 90 , 85 , 80℃から選べます。

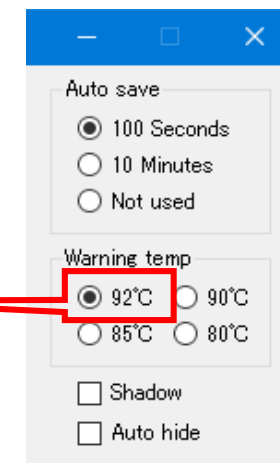
/WarningTemp= で任意の温度に設定できます。

元に戻すには /WarningTemp=95 を指定してください。

フォームを保存するとき影を除去します。

フォームを保存後に非表示にします。

ReStart をクリックすると設定が有効になります。



使用できる起動パラメータについて説明します。

/F , /FormPositionReset      フォームの表示位置をリセットします。 原点から 右 300ドット、下 300ドットの位置をフォーム左上にします。

/? , /H , /Help      簡易説明を表示します。

以下の設定は記憶しますので、次回変更するまで有効です。 ただし、バージョンアップやフォルダーが変わるとクリアされることがあります。

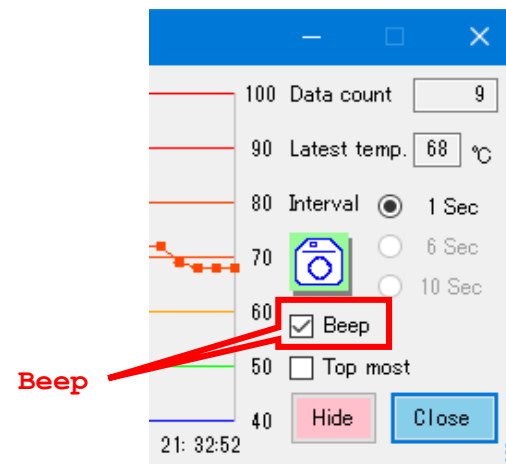
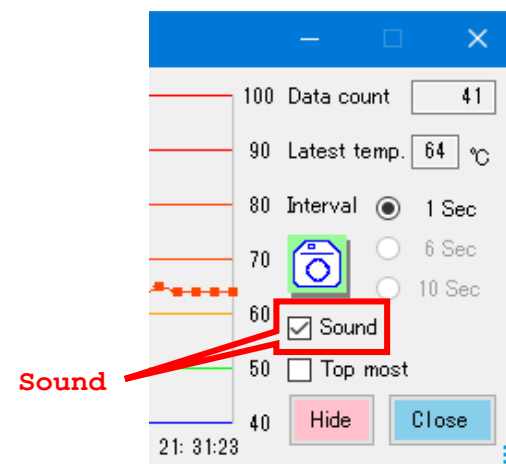
/WarningTemp=      警告温度を 41 ～ 101 の範囲で指定できます。 既定値は 80 °Cです。  
【例】/WarningTemp=92      101°Cは警告を表示したくないときに指定してください。

/ImageSaveFolder=      フォームの保存場所を指定します。 既定値はデスクトップです。  
【例】/ImageSaveFolder=D:\S15be\_sakae\_AuxFolder\LogFileFolder  
【例】/ImageSaveFolder=      既定値(デスクトップ)に戻すとき。

/BeepSound=      フォームのポップアップのときビープ音(ポーンと鳴る音)と信号音を変えます。  
【例】/BeepSound=Sound      信号音にします。  
【例】/BeepSound=Beep      ビープ音にします。

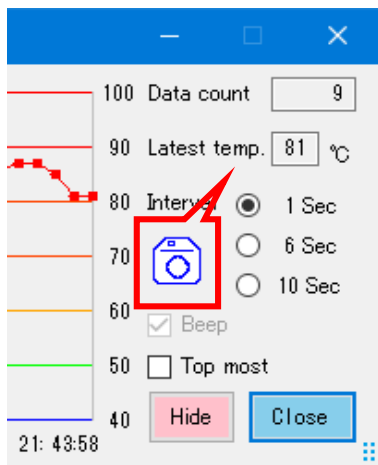
/SoundHz      信号音の周波数です。 37 Hz から 32,767 Hz の範囲です。  
【例】/SoundHz=523      低すぎても、高すぎても耳には聴こえません。

/SoundTime      信号音を鳴らす時間を mSec 単位で指定します。  
【例】/SoundTime=300

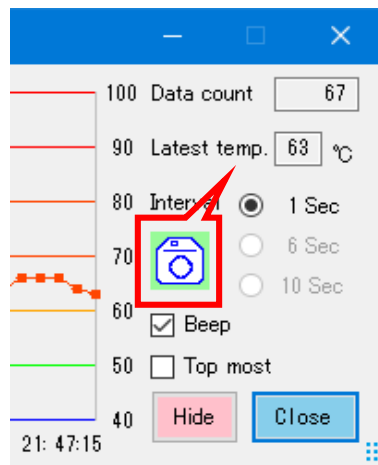


キャプチャー (カメラ) ボタンは起動パラメータの指定により 4 種類あります。このボタンはキャプチャー時には消えます。

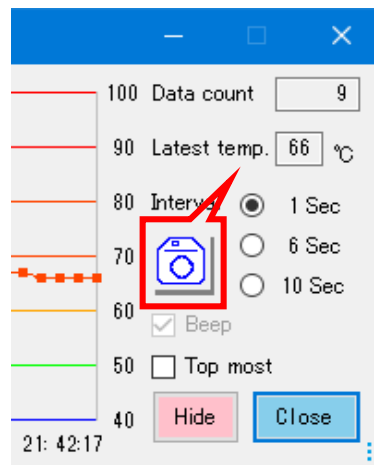
標準 (未指定)。



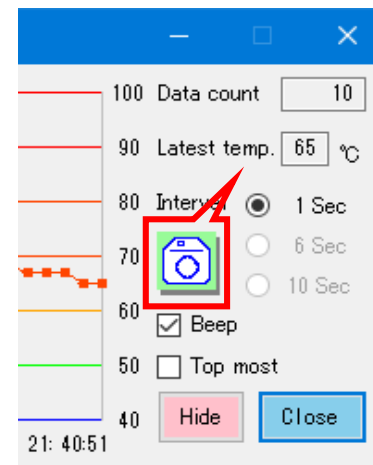
自動保存を指定時。



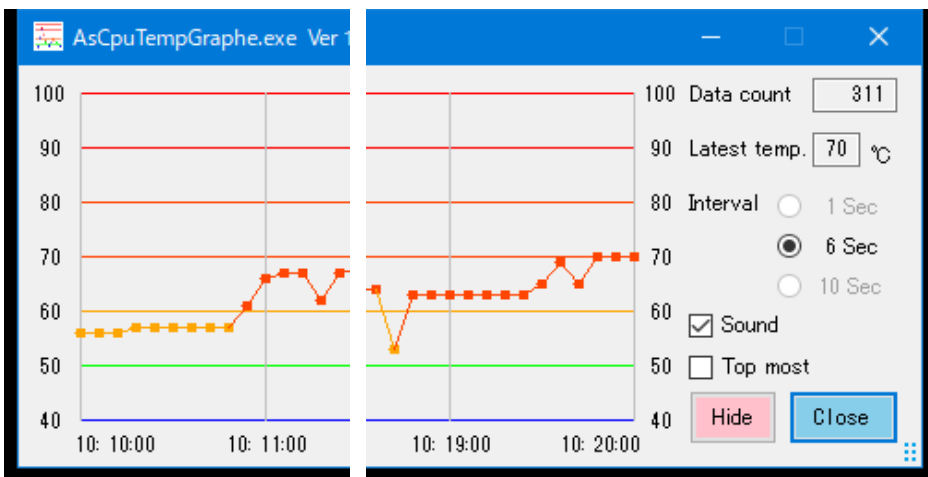
Shadow チェック時。



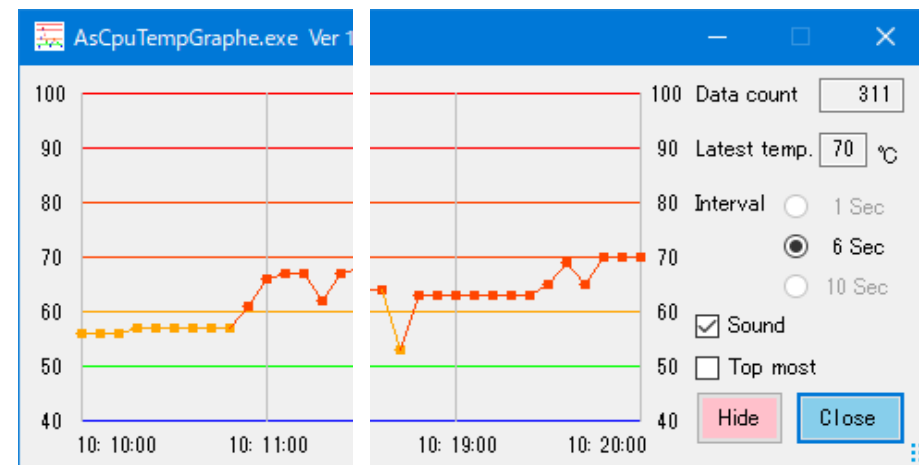
自動保存 と Shadow チェック時。



『ウィンドウの枠に影を付ける』が有効の場合はフォームの周囲もキャプチャーされます。

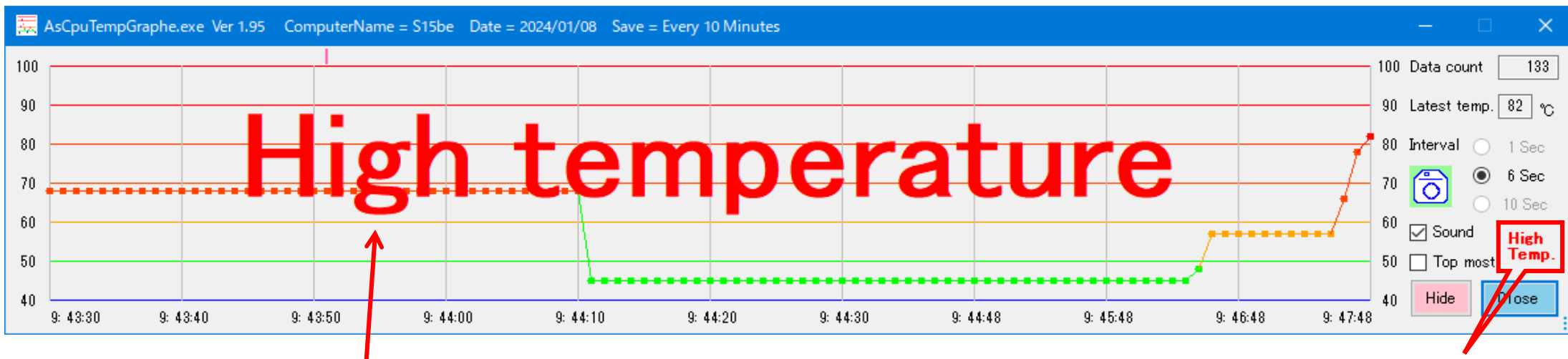


Shadow をチェックすると影を除去してキャプチャーをします。



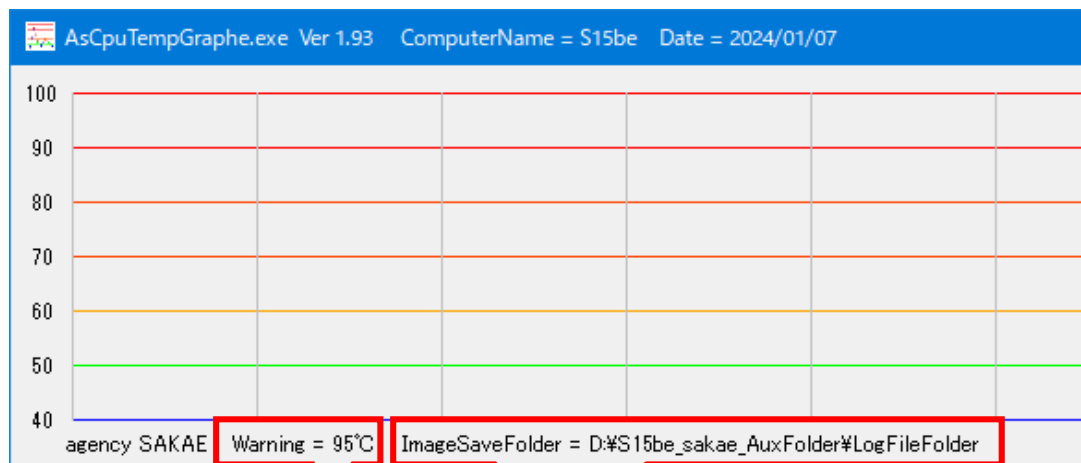
除去するのは 左・下・右 を各 7ドットです。

警告温度になるとフォームが最前面に表示されます。 Sound または Beep がチェックしてあると 2回鳴ります。

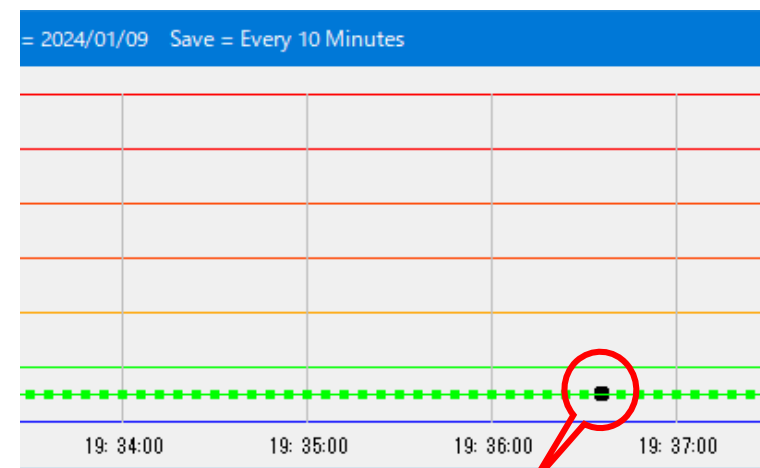


これは次の描画更新まで表示されます。以降は10分以内は再表示されません。

これは警告温度以上のときは常時表示されます。



起動直後のフォームに  
警告温度が表示されます。フォームの保存場所が表示されます。



同じ温度データが続くと 100個毎に ● (黒丸) になります。

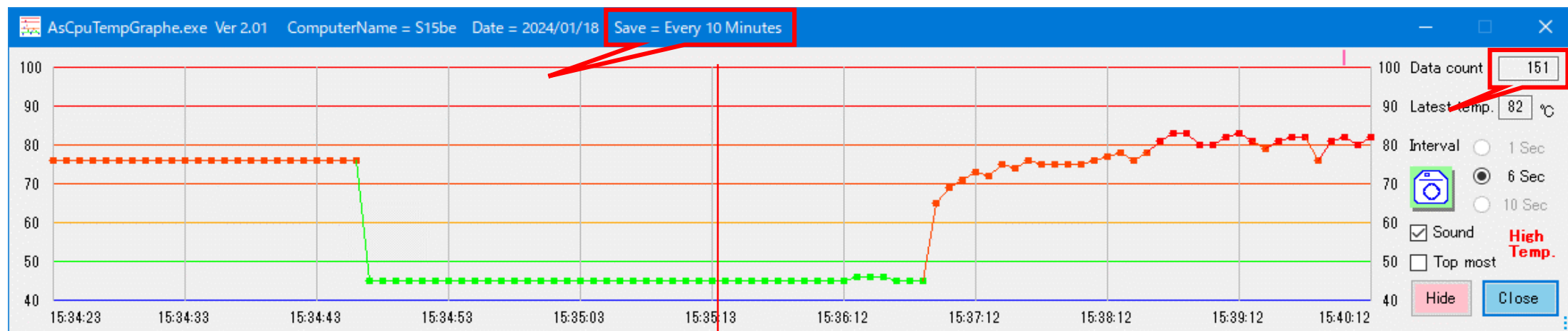


保存のタイミングについて。

自動保存(100秒毎 または 10分毎)を指定したときは、どちらも最初の 101 ポイントまでは 1秒毎で描画が進みます。

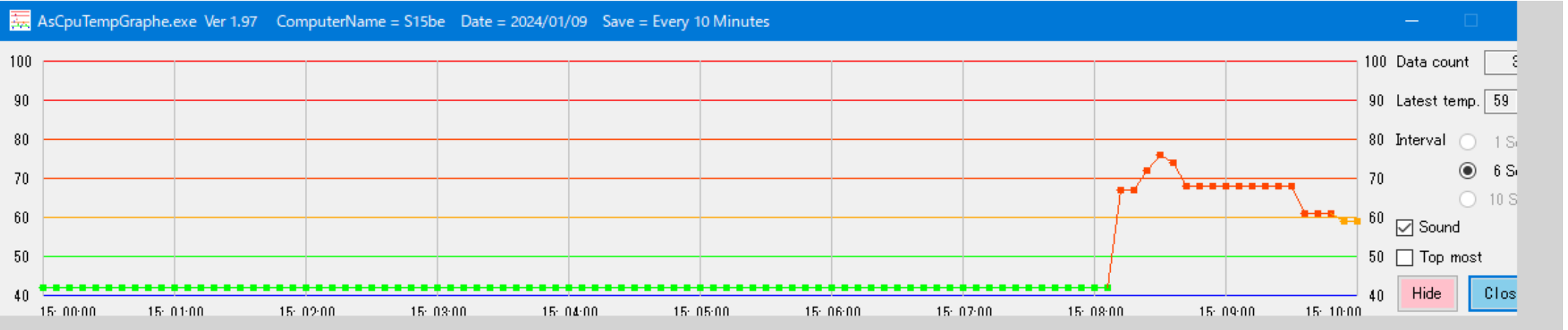
その後は 自動保存100秒毎 のときはそのまま 1秒毎で描画が進み、保存は 100秒毎の 0:00 , 1:40 , 3:20 , 5:00 , 6:40 , 8:20 に実行されます。  
2回目の保存は 100秒より短くなりますが、3回目以降は 100秒毎になります。

自動保存10分毎 のときは 0 , 6 , 12 , 18 , 24 , 30 , 36 , 42 , 48 , 54 の 6秒毎で描画が進み、保存は 10分毎の 0:00 に実行されます。  
2回目の保存は 10分より短くなりますが、3回目以降は 10分毎になります。

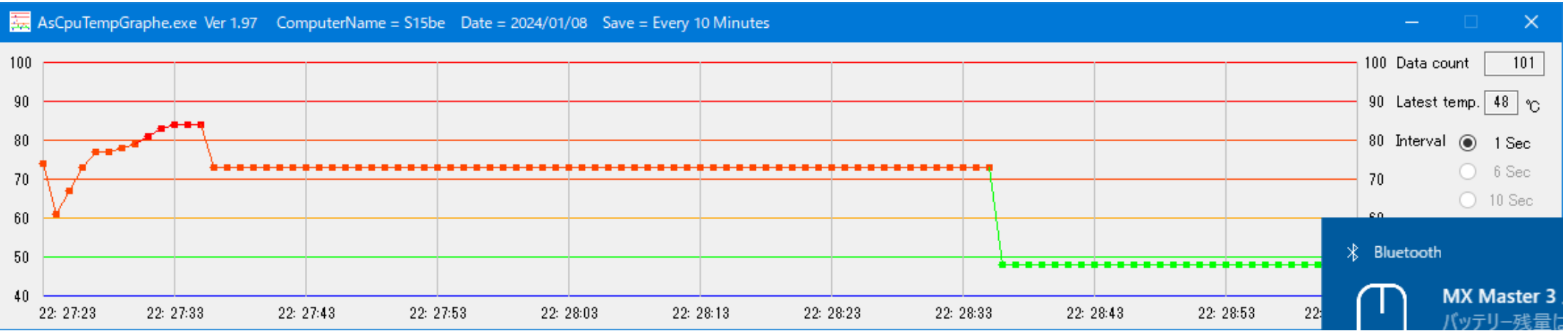


ここまでは 1秒毎 → ← ここからは 6秒毎

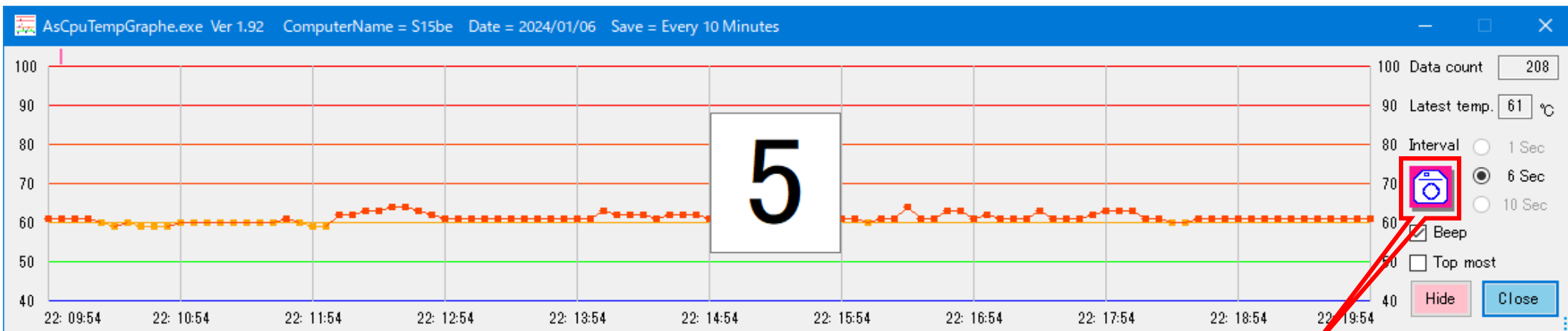
キャプチャーしたときにフォームが画面からはみ出していると、その部分は無地になります。



最前面に表示している時に、新たに優先度の高いフォーム、メッセージ、画像などが表示される場合があります。



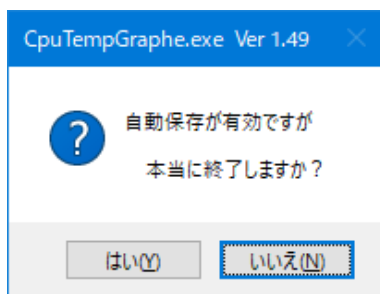
自動保存を指定したときはキャプチャーの 5秒前にフォームが最前面に表示され、カウントダウンが始まります。



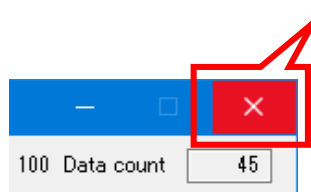
このとき、フォーカスも移りますので、他のアプリケーションで操作中のキー入力などが一時的に出来なくなります。カメラボタンの背景色もマゼンタ(赤紫色)になります。

キャプチャーの時はフォーム上のタイミングマーカとカメラボタンを非表示にしてからキャプチャーします。

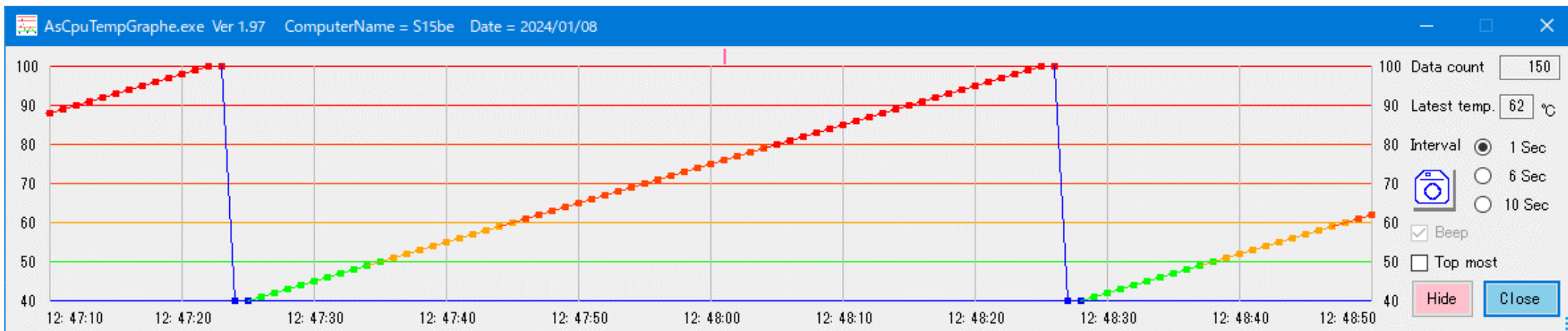
自動保存の時に Close ボタンをクリックしたときは、確認のために次のダイアログが表示されます。



本当に終了する場合は はい (Y) をクリックしてください。ただし、右上の × をクリックしたときはすぐに終了します。



温度によって描画される丸印・線の色が変わります。



アプリの保存されているフォルダーに AsCpuTempGraphe\_IconImage のサブフォルダーが有って、その中に AsCpuTempGraphe.ico と TempValue\_nn.ico が見つければ、そのアイコンをタスクトレイに表示します。（nn は 40 ～ 100 ）アイコンファイルが見つからないときは既定のアイコンになります。



アイコンファイルが見つければ次のようになります。（実際は縮小されるので見づらいです。）



40℃以下



41 ～ 50℃



51 ～ 60℃



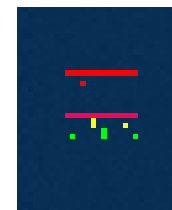
61 ～ 80℃



81 ～ 99℃



100℃以上



このアイコンのときはアプリの入っているサブフォルダー・アイコンが無いからです。

ファイル名さえ合っていればアイコンの内容は自由に変更できます。

温度測定には次の命令を使っています。 インターネットで検索すると多数ありましたので、もっともらしい温度を取得できたのを使いました。

```
Dim searcher As New ManagementObjectSearcher("root\WMI", "SELECT * FROM MSAcpi_ThermalZoneTemperature")
For Each queryObj As ManagementObject In searcher.Get()
    Dim temp As Double = CDb1(queryObj("CurrentTemperature"))
    temp = (temp - 2732) / 10.0
```

命令の内容は理解できてません。動いたから使わせてもらっています。

また、次のようなコメントも記載されています。

CPU側がこの機能に対応していないとダメ！ WMI(Windows Management Instrumentation)が停止されたらダメ！

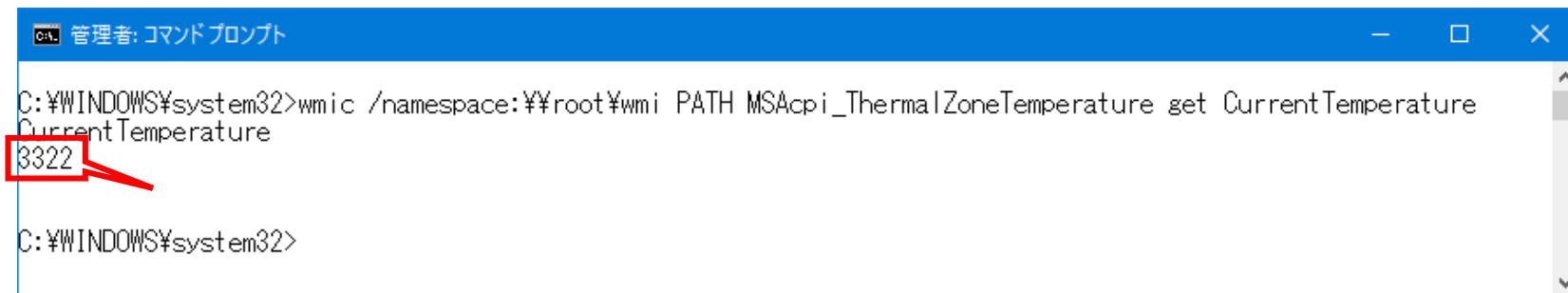
私のパソコンでは使えていますが、たまに 温度が一定のまま変化しないことがあります。

再起動したり、しばらくすると正常に戻ることもあります。

このアプリが使えるかどうかは、管理者としてコマンドプロンプトで次の命令を実行してください。

```
wmic /namespace:\\root\wmi PATH MSAcpi_ThermalZoneTemperature get CurrentTemperature
```

4桁の数値が表示されたらこのアプリも使えると思います。 ただし、毎回同じ数値の場合は、横一線のつまらないグラフになります。



```
C:\WINDOWS\system32>wmic /namespace:\\root\wmi PATH MSAcpi_ThermalZoneTemperature get CurrentTemperature
CurrentTemperature
3322

C:\WINDOWS\system32>
```

関連ファイル

AsCpuTempGraphe Ver x.xx.yy

フォルダー 名前は何でも良い。

AsCpuTempGraphe.exe

実行ファイル このファイルのサブフォルダーに **AsCpuTempGraphe\_IconImage** が必要。

AsCpuTempGraphe\_Manual.pd

操作説明書 (このファイル)

**AsCpuTempGraphe\_IconImage**

フォルダー 必ずこの名前。

AsCpuTempGraphe.ico

温度のアイコンファイルの有無を確認するためのファイル。



TempValue\_40.ico

タスクトレイ用アイコン 40℃用



TempValue\_41.ico

タスクトレイ用アイコン 41℃用



TempValue\_\*\*.ico  
\*\* = 42 ~ 98

タスクトレイ用アイコン  
42℃ ~ 98℃用



~



~



~



~



TempValue\_99.ico

タスクトレイ用アイコン 99℃用



TempValue\_100.ico

タスクトレイ用アイコン 100℃用



---- 以上 ----